

現代文学の窓読書会開催のご案内

昨年はコロナ禍の一年でした。日常生活が早く戻ることを願いつつ、2021年2月の例会のご案内を申し上げます。多数のみなさまのご参加をご期待申し上げます。
なお今回はかながわゆかりの作家の文学について取り上げます。

日時:2021年2月21日（日曜日）

午後2時から

会場:ほどがや市民活動センター（アワーズ）研修室

（コロナウィルス感染防止のため会場定員が減らされています。定員8名の会場ですので参加ご希望の方はご連絡いただくと助かります）

相模鉄道線・星川下車図書館奥

横浜市保土ヶ谷区星川1-2-1

テーマ:かながわゆかりの作家の文学、東日本大震災後の文学作品

課題書:柳美里（ゆみり）著『JR上野駅公園口』

河出文庫2017年刊行、869円

1933年に福島県南相馬市に生まれた男の生涯を通じて描かれる死者への祈り、日本の光と闇。

「帰る場所を失くしてしまった全ての人たち」への作家が送るメッセージとは？

2020年全米図書賞（翻訳小説部門）受賞作、英題は「TOKYO UENO STATION」現在ベストセラーで書店で入手可能です。各自ご用意ください。

★柳美里（ゆ・みり）

1968年生まれ。横浜市で育つ。共立女子学園高校中退。劇団「東京キッドブラザース」入団。

役者・演出助手を経て演劇ユニット「青春五月党」結成。1993年『魚の祭』で岸田國士戯曲賞受賞。1997年『家族シネマ』で芥川賞受賞。他の受賞作には『フルハウス』泉鏡花賞・野間文芸新人賞。『ゴールドラッシュ』木山捷平文学賞。現在、福島県南相馬市在住。

参加費:無料

申込先:事務局 加藤まで

メール:hideyuki.kato88@ezweb.ne.jp

メール:ugb24757@nifty.com

携帯電話:080-5038-4121